



2026年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年7月10日

上場会社名 株式会社ALiNKインターネット 上場取引所 東
コード番号 7077 URL <https://www.alink.ne.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役CEO (氏名) 池田 洋人
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 コーポレート部長 (氏名) 小幡 真幹 (TEL) 03-6907-0158
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年2月期第1四半期の連結業績(2025年3月1日～2025年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年2月期第1四半期	247	32.1	5	—	7	283.5	△3	—
2025年2月期第1四半期	187	—	△3	—	1	—	30	—

(注) 包括利益 2026年2月期第1四半期 △3百万円(—%) 2025年2月期第1四半期 30百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年2月期第1四半期	△1.70	—
2025年2月期第1四半期	16.74	16.19

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年2月期第1四半期	1,898	1,658	87.3
2025年2月期	1,834	1,661	90.5

(参考) 自己資本 2026年2月期第1四半期 1,657百万円 2025年2月期 1,661百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年2月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2026年2月期	—	—	—	—	—
2026年2月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年2月期の連結業績予想(2025年3月1日～2026年2月28日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
第2四半期(累計)	498	10.2	20	△58.1	30	△46.7	8	△87.5
通期	1,016	14.4	19	△56.2	41	△34.1	1	△98.3

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 —社(社名)— 、除外 —社(社名)—

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2026年2月期1Q	2,136,900株	2025年2月期	2,136,900株
2026年2月期1Q	330,068株	2025年2月期	330,068株
2026年2月期1Q	1,806,832株	2025年2月期1Q	1,797,702株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	6
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等の注記)	7
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、米国の政策運営や通商・外交方針を巡る不確実性の高まりを背景に、対中関係をはじめとする地政学リスクへの警戒感が継続しており、その影響から物価上昇や生活コストの増加による個人消費の抑制がみられるなど、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような状況のなか、当社グループは“未来の予定を晴れにする”を経営理念として、主力サービスである天気予報専門メディア「tenki.jp」を一般財団法人日本気象協会との共同事業として運営しております。

tenki.jp事業においては、PV(ページビュー)数の増加とPV当たり広告単価の維持に取り組んでまいりました。

なお、前連結会計年度より株式会社エンバウンド(以下、「エンバウンド」という。)を連結の範囲に含めておりますが、エンバウンドは、みなし取得日を2024年5月31日としているため、前第1四半期連結会計期間においては貸借対照表のみを連結し、前第2四半期連結会計期間より損益計算書を連結しております。

この結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高247,529千円(前年同期比32.1%増)、営業利益5,573千円(前年同期実績 営業損失3,427千円)、経常利益7,222千円(前年同期比283.5%増)、親会社株主に帰属する四半期純損失3,072千円(前年同期実績 親会社株主に帰属する四半期純利益30,095千円)となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

(tenki.jp事業)

当第1四半期連結累計期間のPV数は、3月に入ってから都内での降雪が観測されるなどの気象要因が寄与しましたが、4月以降は昨年と比べ降雨日数が少なく前年同期比94.3%の14億PVとなりました。

一方で、PV当たり広告単価は、依然として低迷基調となりましたが、2024年7月にGoogle社のWebブラウザのChromeにおける3rd Party Cookieの利用廃止が撤回されたこともあり、前年同期比103.8%となっております。

費用面に関しては、将来の売上高及び利益の向上を目的として、新たな収益モデルの構築に向けた人件費や開発費等の投資を継続しております。

この結果、売上高147,453千円(前年同期比10.0%減)、セグメント利益65,493千円(前年同期比8.4%増)となりました。

(IPプロデュース事業)

前第1四半期連結会計期間において、「温泉むすめ」のコンテンツプロデュースを行う株式会社エンバウンドの全株式を取得し連結の範囲に含めたことにより、「IPプロデュース事業」を開始いたしました。なお、前第1四半期 連結会計期間においては、貸借対照表のみを連結しており、前年同期のセグメント損益においては取得関連費用 25,000千円に伴うセグメント損失25,000千円を計上しております。

当第1四半期連結累計期間においては、温泉地でしか購入できない「温泉むすめ」のグッズ販売や温泉地の魅力を発信するイベントの開催等は、計画に対し順調に推移いたしましたが、のれん償却額8,420千円を計上したことなどにより、売上高63,843千円、セグメント損失25,358千円となりました。

(その他の事業)

その他の事業では、主力であるtenki.jp事業以外の事業領域の拡大のため新規事業への参入を図っており、太陽光コンサルティング事業及びダイナミックプライシング事業を進めております。太陽光コンサルティング事業につきましては、太陽光発電設備のセカンダリー市場において、一時的に太陽光発電設備を保有することにより、売電収入を得ております。また、ダイナミックプライシング事業につきましては、当該事業に先立つPoC(実証実験)として、首都圏においてレンタルスペースの運営を行っております。

この結果、売上高36,233千円(前年同期比53.9%増)、セグメント利益21,068千円(前年同期比78.5%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は1,898,733千円となり、前連結会計年度末に比べ63,867千円増加いたしました。これは主に、短期貸付金が360,900千円増加、売掛金及び契約資産が42,412千円増加した一方で、現金及び預金が348,323千円減少したことによるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は240,660千円となり、前連結会計年度末に比べ66,940千円増加いたしました。これは主に、短期借入金が100,000千円増加した一方で、納税に伴い未払法人税等が31,495千円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は1,658,073千円となり、前連結会計年度末に比べ3,072千円減少いたしました。これは、親会社株主に帰属する四半期純損失となったことにより利益剰余金が3,072千円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年2月期の業績予想につきましては、2025年4月14日に公表いたしました連結業績予想から変更はございません。今後の事業動向を踏まえ、業績予想の修正が必要となった場合には、速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	743,377	395,054
売掛金及び契約資産	146,953	189,365
商品	2,728	6,339
貯蔵品	180	5,067
短期貸付金	590,318	951,218
その他	22,827	27,224
流動資産合計	1,506,385	1,574,269
固定資産		
有形固定資産	31,060	30,187
無形固定資産		
のれん	217,360	208,520
ソフトウェア仮勘定	—	13,695
無形固定資産合計	217,360	222,215
投資その他の資産	80,059	72,061
固定資産合計	328,480	324,464
資産合計	1,834,866	1,898,733
負債の部		
流動負債		
買掛金	26,362	29,140
短期借入金	—	100,000
未払法人税等	40,972	9,477
賞与引当金	2,703	675
株主優待引当金	5,443	—
その他	82,254	85,312
流動負債合計	157,734	224,604
固定負債		
資産除去債務	15,985	16,055
固定負債合計	15,985	16,055
負債合計	173,720	240,660
純資産の部		
株主資本		
資本金	138,087	138,087
資本剰余金	173,851	173,851
利益剰余金	1,675,655	1,672,582
自己株式	△326,582	△326,582
株主資本合計	1,661,011	1,657,939
新株予約権	133	133
純資産合計	1,661,145	1,658,073
負債純資産合計	1,834,866	1,898,733

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年5月31日)
売上高	187,328	247,529
売上原価	75,575	140,128
売上総利益	111,753	107,401
販売費及び一般管理費	115,180	101,827
営業利益又は営業損失(△)	△3,427	5,573
営業外収益		
受取利息	6,036	4,136
不動産賃貸料	1,265	1,199
その他	772	—
営業外収益合計	8,075	5,335
営業外費用		
支払利息	—	39
為替差損	—	886
不動産賃貸費用	2,762	2,760
その他	2	—
営業外費用合計	2,764	3,686
経常利益	1,883	7,222
特別利益		
保険解約返戻金	54,354	—
特別利益合計	54,354	—
税金等調整前四半期純利益	56,238	7,222
法人税、住民税及び事業税	25,247	7,801
法人税等調整額	895	2,493
法人税等合計	26,142	10,295
四半期純利益又は四半期純損失(△)	30,095	△3,072
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	30,095	△3,072

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年5月31日)
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	30,095	△3,072
四半期包括利益	30,095	△3,072
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	30,095	△3,072

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 2024年3月1日 至 2024年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額 (注) 2
	tenki. jp 事 業	IPプロデュ ース事業	その他の事 業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	163,782	—	23,546	187,328	—	187,328
セグメント間の内部売 上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	163,782	—	23,546	187,328	—	187,328
セグメント利益又は損失 (△)	60,391	△25,000	11,803	47,195	△50,622	△3,427

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△50,622千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用で
す。全社費用は、主に、各報告セグメントに帰属しない役員及び管理部門に係る人件費、経費等の一
般管理費です。

2. セグメント利益又は損失は四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

2024年5月10日に株式会社エンバウンドの株式を取得し連結の範囲に含めたことに伴い、当第1四半期連
結累計期間においてのれんが235,760千円増加しております。なお、当該のれんの金額は、当第1四半期連結
会計期間末において取得原価の配分が完了していないため、暫定的な会計処理によって算定された金額であ
ります。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループは従来、「tenki.jp事業」の単一セグメントとしておりましたが、当第1四半期連結会計期間
より株式を取得し子会社化した株式会社エンバウンドを連結の範囲に含めたことに伴い、報告セグメントに
「IPプロデュース事業」を追加しております。また、「tenki.jp事業」における新規事業開発を各セグメント
から切り離し、新規事業開発の解像度を向上させることを企図し、新たに「その他の事業」を報告セグメント
に追加いたしました。なお、「その他の事業」は、ダイナミックプライシング事業及び太陽光コンサルティング
事業であります。

当第1四半期連結累計期間(自 2025年3月1日 至 2025年5月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額 (注) 2
	tenki.jp 事 業	IPプロデュ ース事業	その他の事 業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	147,453	63,843	36,233	247,529	—	247,529
セグメント間の内部売 上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	147,453	63,843	36,233	247,529	—	247,529
セグメント利益又は損失 (△)	65,493	△25,358	21,068	61,203	△55,630	5,573

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△55,630千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用で
す。全社費用は、主に、各報告セグメントに帰属しない役員及び管理部門に係る人件費、経費等の一
般管理費です。

2. セグメント利益又は損失は四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半
期連結累計期間に係る減価償却費及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年5月31日)
減価償却費	1,238千円	1,139千円
のれんの償却額	280千円	8,840千円